

明石市

国際協力海外レポート

山田 雄一郎(やまだ ゆういちろう)【JICA 青年海外協力隊】

赴任地：パナマ共和国 ダビッド市
職種：幼児教育
赴任期間：2010年6月～2012年6月（予定）



明石市の皆様こんにちは。

青年海外協力隊、幼児教育隊員として、2010年6月より中南米のパナマ共和国、チリキ県ダビッド市で活動をしている山田雄一郎です。

今回、国際協力レポートとして現地よりパナマ共和国のことや、私が行っている活動をできるだけわかりやすく、そして生きた情報をお伝えしたいと思います。



パナマの子どもたちと山田さん（中央）



○パナマとは？

パナマの首都は“貧困”という言葉と全く思い起こさせないほど発展していて、飛行機で空の上から見た時は本当に驚きました。しかし、一歩首都を出ると、周りは何もなく、首都と地方とはこんなにも違うのか！と更に驚きました。

「パナマとは？」と聞かれると、もちろんまずはパナマ運河が有名ですね。そしてパナマハット（パナマ帽）。さらに、コーヒーが大好き！というグルメな方はご存知、ゲイシャコーヒーがあります。

ゲイシャ種と呼ばれるコーヒー豆はここ数年、最も注目を集めている品種で、初めて世界の注目を集めたのは2004年のパナマの国際オークション(Best of Panama)。当時破格の最高落札価格を記録しました。気になる方はインターネットで“ゲイシャ コーヒー”と入力するとたくさんの情報が出てきます。

また、パナマには日本米に似た米（少しパサパサしている）があるだけじゃなく、場所によっては醤油や味噌、豆腐まで手に入れることができます。それも中国人がたくさんいることから、それらの食材や、即席のカップヌードルまで一般的に手に入るのです。パナマ人もそれらを好んで食べています。

○気候について

パナマは赤道に近い為、一年中、高温多湿の亜熱帯気候で1月～4月が乾季にあたり、今の時期は雨季にあたります。今は雨季から乾季への移り変わりのせいか、比較的日陰では涼しく感じられます。

雨季で毎日雨が降ると、地盤が崩れやすくなり、土砂崩れ・倒木が地方では頻繁に起こります。また舗装のされていない道では、道がぬかるみ、何台もの車が途中で通れない状態になることがあります。

私の活動先の一つである農村の保育園へ行く時は、舗装されていない道路を通らなければいけないので、このような自然災害で活動ができなかったこともありました。



“貧困”というイメージとはほど遠い大都会



一方、地方では倒木による被害も頻繁に起きています

○活動について

地方の保育園へ行けば、たとえ私が外国人であろうとも先住民の子ども達や、子ども達のお母さんが温かく迎えてくれます。そしていつも彼らの笑顔に心から癒されています。

初めは、先住民の方々も“変な外人が来たぞ”とばかりに、あまりコミュニケーションをとってくれなかったり、言葉の壁があったりとたくさん問題がありましたが、今では私の名前も覚えてくれ、帰り際には「次はいつ来るの？」と聞いてくれます。

彼らと同じ時間を過ごす中で、たとえ言葉の壁があろうと“心は通じる”と実感する瞬間ですね。



広い空とまっすぐに続く道

2010/11/20 JICA 青年海外協力隊員 山田 雄一郎